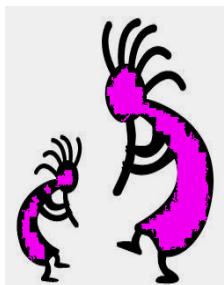


令和7年11月(268)

秋山医院

藤岡市小林748-8

0274-22-8315



医院だより

霜月(しもつき) 別名 霜降月(しもふり)

雪待(ゆきまち)月、雪見(ゆきみ)月、神樂(かぐら)月、神帰(しんき)月、子(ね)の月
陰曆十一月の和名一般に霜降り月の略とするが、「上のみなつき」(神無月)に対する
下みなつきということらしい」(山本健吉)という説もある。語源の詮索はともか
く、事項を端的に示す言葉だ。何やら朝日に照らされた初霜のきらめきが見えてくる
ような感じだ。しかし、俳句の好例は存外に少ない。ことばがあまりに完結している
ためか。あるいは語感が古風故か。また、
同義とはいっても、雪待月・雪見月とでは
そこに若干の感覚的な差異があろうかと思
う。(飯田龍太)

桜山紅葉



目次(一覧)

1、十一月の異称、十一月の花

2、十一月の言葉、十一月の暦、お知らせ、診療案内、健康テレפון、

3、大岡信選集
けんこう(百九十九)

群馬県感染症発生動向調査より

4、院長のひとりごと(2336)

篠輝久著「残されたもの」から(下)

雪待月 林はものの
こゑ透る

加藤 楓邨

(講談社「カラーリ図説日本大歳時記」)

『十一月の花』

竜胆(りんどう)、竜脳菊(りゆうのうぎく)、背高泡立草(せいたかあわだちそう)、磯菊(いそぎく)、
石蕗(つわぶき)、菊、柊(ひいらぎ)、山茶花(やぢ
んか)

『十一月の言葉』

たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語る
うとも、愛がなければ、わたしは騒がしいど
ら、やかましいシンバル。たとえ、預言する賜
物を持ち、あらゆる神秘とあらゆる知識に通
じていようとも、たとえ、山を動かすほどの完
全な信仰を持つていようとも、愛がなければ、
無に等しい。全財産を貪しい人のために使い尽
くそうとも、誇ろうとしてわが身を死に引き
渡そうとも、愛がなければ、わたしに何の益も
ない。愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまな
い。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、
自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱
かない。不義を喜ばず、眞実を喜ぶ。すべてを
忍び、すべてを信じ、すべてに耐える。

(コリントの信徒への手紙一第十三章一一七節)

【十一月の暦】

○当番医 十二月三十一日(水)

年末年始の休診

十二月二十八日から一月四日(日)
(十二月三十一日は休日当番医です)

一日 灯台記念日
二日 十三夜
三日 文化の日、明治神宮例祭
五日 世界津波の日
七日 立冬

九日 一一九番の日、太陽暦採用記念日
十日 世界平和記念日
十五日 七五三
十九日 一茶忌

二十一日 近松忌
二十二日 小雪

二十三日 勤労感謝の日
二十四日 振替休日
二十八日 親鸞聖人忌

『診療内容』

- 一般外来診療
- 往診・在宅医療(ご相談ください)
- 骨粗鬆症の診療
- ピロリ菌の診療
- CT、MRI、PETの予約
- 胃・大腸内視鏡
- インフルエンザ・新型コロナ・肺炎球菌・帯状疱疹ワクチンなど

三、群馬県保険医協会「十四時間健康テレホン」

<http://www.rajin.com/kenko/>

電話〇一七一一三四一四九七〇

二十三日 勤労感謝の日
二十四日 振替休日
二十八日 親鸞聖人忌

お知らせ

一、マイナンバーカードで受付を行っています。

カードは保険証の代わりになります。

まだマイナンバーカードがない方は、月の最初の受診時には、「資格確認書」を、ご提示ください。

二、診療案内

○4月から診療時間が変わりました。
木曜日は休診日となりました。

『午後診療』では予約診療もおこなっています。

予約は電話でも受付できますので、利用ください。

月	爪の周りが化膿したら
火	おや知らずはぬくべきか
水	高血圧の対策
木	女性の基礎体温について
金	漢方の出番
土日	乳幼児期の親との 食器の共用とむし歯

大岡 信著 『折々のうた』(冬のうたから)

感じられる。「縫ひつつ落とす針の鏽」の具象性が鮮明なので、暗示力も強くなる。

小杉ひとつ

埋もれむとして秀(ほ)を出せる

雪原をゆく きのふもけふも

斎藤茂吉

『白き山』(昭二一四)所収。「秀」は「穂」と同じ

で、物のとがった先端をいう。疎開先の故郷

山形県で敗戦の苦しみの中にあつた当時の作。小杉が伸びあがつてくる。その上へ新しい雪が降り、杉の頭も埋まりそうである。それでも小杉は健気に頭をもたげ、雪中に可憐な緑色を点じている。この雪原を昨日も今日も自分は歩む。「きのふもけふも」に、茂吉には珍しい弾んだ調子があつて、みずみずしい命の発露に対する感動を伝える。

寒菊や 縫ひつつ落とす

針の鏽(ハギ)

加藤千世子

「頬杖」(昭六一)所収。冬咲く菊は、一般に花も葉も小さい。その、寒菊が咲いている部屋でせつせと縫物をする。針にはわずかに鏽がついている。縫いながらそれも落とてしまおう。このささやかな生活情景には、何となくわびしい感じもあるし、心の鬱屈という別の鏽をそぎ落としたいという気分も

けんこう(百九十)

群馬県感染症発生動向調査より(44週)

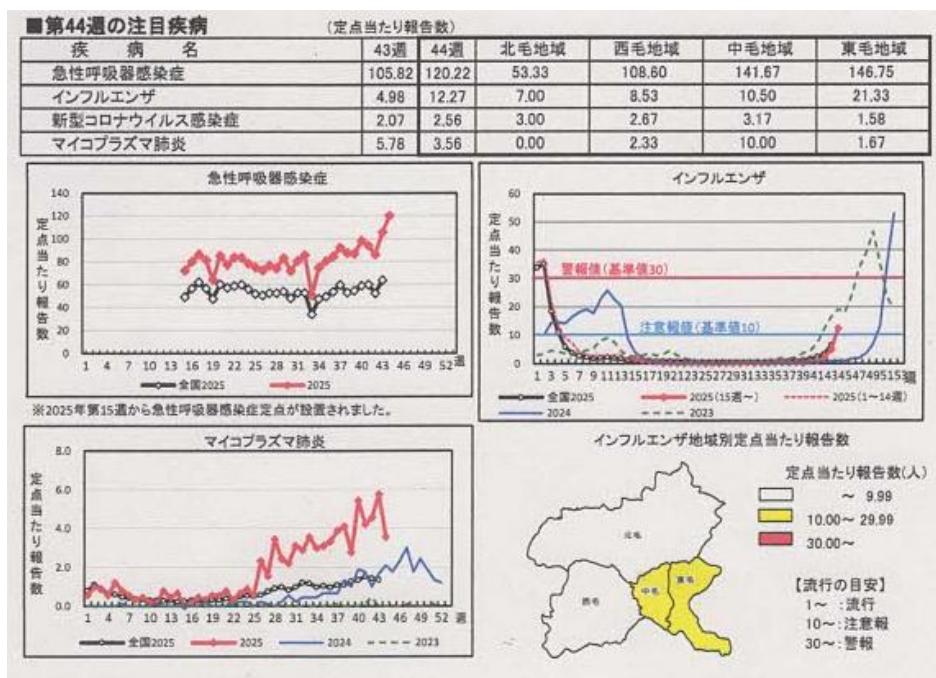
(群馬県衛生環境研究所感染制御センター)

★インフルエンザは注意報が発令されました。

また、15歳未満の年齢層を中心にマイコプラズマ肺炎の報告も続いています。これらの感染症はいずれも、飛沫感染や接触感染によってうつります。咳やくしゃみが出るときには、「マスクを着用する」「鼻や口をティッシュで覆う」「袖や上着の内側で口や鼻を覆う」などの咳エチケットを心がけましょう。定期的な換気も感染予防に有効です。

★インフルエンザワクチン、新型コロナワクチンは重症化を防ぐ効果が期待できます。高齢の方や基礎疾患のある方は、早めの接種を検討しましょう。

川場村の柿



院長のひとりごと(二二二六)⁴

篠 輝久著「残されたもの」から(下)

◇何のきっかけだったか「ディーン・リーパー」という名前を知り、篠 輝久氏の著書を購入し、十年が経った。毎年の暦の9月26日に「洞爺丸事件(どうやまるじけん)」と書き込んでいる日を忘れないようにしています。

◆特別大きな書を著したり、大事業をやって名を遺したわけではないが、日米戦争で荒廃した日本にキリスト教の伝道者としてやつてきて、日本各地を飛び回り、その縁に就いたばかりに、遭難して三十三歳の若さで死んでしまった青年が、自分の救命具を日本に渡して助け、自分は溺れて亡くなつて浜に打ち上げられた話を知ったとき、新約聖書ヨハネ伝十五・十三にある、「人がその友のために自分の命を捨てる」と、これよりもおおきな愛はない。」という言葉が、現実味を帯び大波のように襲ってきて、心が激しく震えたのです。

「友のために自分の命を捨てる」とはどういった状況のときのことと言つたのか、という観点から今回、読み直してみてまた新しい人の出会いが増えました。その方も、紹介します。

ディーンは一九一〇年十一月十一日生まれ、生家の農場は、百キロメートル四方もある大きなものだったそうです。

◇二十一歳のとき真珠湾攻撃で日米戦争が起き、太平洋戦争がはじまりました。日本の敗戦を経験して米国での激しい反日の嵐の中で、彼は

「日本を戦争に駆り立てた責任は、アメリカにもある。言つことを聞かないと輸出を止めると言われば日本側が黙つてアメリカの言うとおりになるだろうなんて、とんでもない、気の毒なのは、アメリカの力を知らない日本人だ」と考えました。

◆ディーンは二十一歳でイリノイ大学を卒業し、アメリカの学生にキリスト教を伝える学生伝道団の主事に選ばれます。

ますます戦闘が激しくなる中で、一九四四年、ディーン二十三歳の時アメリカ海軍に召集を受けました。海軍は優秀な青年たちを選んで、専門的教育を計画していました。

ディーンの場合は日本語と日本文化の研究でした。

◇ディーンは、海軍除隊後、陸軍からの召集令状が届き、中国伝道を願つていたのに日本語と日本研究をするようにとの命令が出されました。反発しあけれど、次第にそれを神の意志と受け止める、とができるようになって、きました。

◆一九四五年、八月十三日号の「ニューズウイーク」では

八月六日、月曜日の朝、エノラ・ゲイ(B—29)が広島上空に飛び、小型の爆弾を落とした。当時の広島の人口は約三十四万人、そのうち二十万人の人々がこの一発の爆弾で亡くなり街の六割が焼け野原になりました。

さらに、八月九日、長崎への原子爆弾投下と続きます。ディーンは、「広島にも長崎にも、市民がいただろう。お母さんも子供もいたに違いない。アメリカが燃やしたのは、街でなく、人の体だ。」とアメリカ軍のやり方に怒りをおぼえました。

◇一九四五年には約四十万人のアメリカ兵士が日本に上陸し、ディーンにも誘いがかかりましたが、彼は、「私は、占領軍の一員としては、日本に行きたくありません。私は、日本人の友として日本を訪れる」と希望します」と断り、一九四六年のころには

「自分の行く国は日本しかない」と信じるようになっていました。

◇『私を、どこにでも呼んでください。私は、どこにでもいきます』

と、日本全国に活動範囲を広げました。

一九五三年、デイーンはYMCAsから一年半の休暇を取つて、エール大学で牧師になるための勉強をすることがあります。「高く飛びたまには、長い助走が大切」と考え今回の休暇も助走と考えたのです。

◆まちにまつた日本への帰国は、一九五四年

九月五日のことでした。彼はアメリカを離れる前に、父親に手紙を書いています。手紙の最後に次のように書かれていました。

(…もっと努力をするように、もっと深い献身をするようにと、神は私を呼んでおられるのです)

◇九月五日、日本に帰ってきたデイーンは、荷物をとくひまもなく、二十一日北海道へ出張に行きます。札幌や留萌で人に会い、大学を訪ね、彼が北海道を離れるのは九月二十六日の午後と予定されていました。

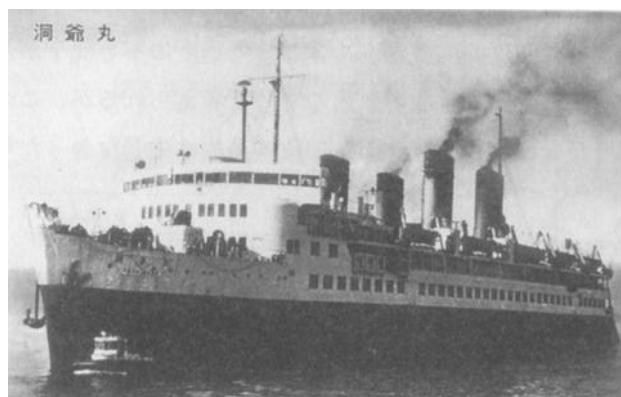
◆最初の予約は 午後五時半出航予定の大

雪丸でした。

このころ、9月18日にグアム島の西の海上で発生した熱帯低気圧(のちの命名マリー、

台風15号)は、9月26日未明、九州南部に上陸し、その後北海道へ向かって時速110kmで北東に進み、17時ころ渡島(おしま)半島を通過し津軽海峡に最も接近すると予想されました。

午後1時20分発青森行きの貨物便青函丸が高波のため函館港に戻ってきて、その乗客は青函連絡船の中で一番大きな船だった洞爺丸に乗り換えることになりました。デイーンが予定していた大雪丸も欠航と決まり、洞爺丸にうつりました。



弱まつてきたというふうなことを表していたのです。

この事態は台風の目にに入った時に起きる現象でしたが、停滯前線の上に現れた、単なる晴れ間にすぎなかつたことを台風の目にに入ったと誤認していました。

ぶつかる可能性が高くなるとされているのです。不思議なことに船は出航してしまったのです。

17時40分に出航時刻を18時30分とすることを発表しました。

◆しかし他の船の係留に手間取り、実際は18時30分によく出航しました。乗員乗客合わせ

一、三一四人が乗船していましたが、出航して間もなく、南南西からの風が強くなり、函館港外に出た直後から猛烈な風雨に襲われたため、投錨し、仮泊することに決断、さらに風下に流されたため、函館港防波堤灯台付近の海上に投錨し仮泊することになりました。

◇この頃19時発表の台風情報を無線室が受信し、船長に報告したことによると、台風は寿都(すつ)西方50キロの海上を北北東に進行中と、台風が過ぎ去つたと判断していた船長は違和感を覚えるのでした。これは気象台が台風の速度が急激に落ちていたことを把握できていなかつたことによる大誤算で、実際は予想よりも2時間遅れて、すなわち本格的な暴風雨はこれから来るということだったので。これを証明するように風速は、40メートル、50メートルと激しくなつてい

づたため、錨が海底に引っかからずで船が流され(走錨)始めました。

船尾の車両搭載口

船腹を見せる洞爺丸(ウイキペディアより)



◆さうに悪いことには洞爺丸には船尾に車両の搭載口があり、そこから侵入した海水がボイラー室、機関室に侵入し、発電機が運転不能となり、浸水が進み、発電機は次々に運転不能となり污水の排水も困難となってしまったのです。21時50分左舷主機

(エンジン)、22時05分に右舷主機が運転不能になり、両舷主機の停止で操船の自由を失つてしまつたため、次の段階の沈没を避けるために遠浅の砂浜である七重浜(北斗市)への座礁を決め、旅客に救命胴衣を着用するように事務長を通じて指示が出されました。



海岸まであと数百メートルの函館港第三防波堤灯柱付近で船尾が海底にぶつかり座礁し、船体は右舷に45度傾斜したが、乗組員は座礁によって転覆の危険だけは避けられたと乗客にもその旨を伝達したのですが、22時43分ころ左舷錨鎖が断裂し、この時点で復元力を失っていたところに船体が大波を受けて横倒しとなり22時45分、客貨車の倒れる轟音とともに転覆してしまったのです。

◆当時函館港内には8隻の船舶が在港していて、繋留策切断、錨鎖切断・走錨などの事態となつたが、沈没は免れました。しかし港外にとどまつた船9隻のうち無事であったのは2隻のみで2隻が座礁、5隻が沈没しました。この5隻は洞爺丸を含めすべて青函連絡船であり、貨物を積み込む開口部からの船内への海水、さうに機関室やボイラー室への浸水があり沈没事故からは免れ得ないものになつてしまつたのです。

◇死者・行方不明者数(カッコ内は生存者数)

洞爺丸

1155人(159人)

第十一青函丸

90人(0)

北見丸

70人(6人)

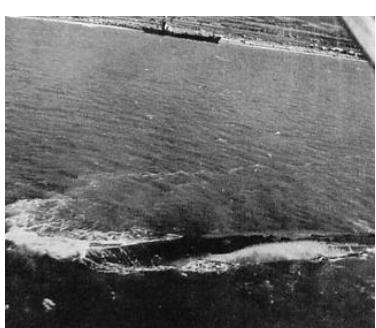
十勝丸

59人(17人)

日高丸

56人(20人)

◇最後には船体がほぼ裏返しになり、洞爺丸だけでも乗員乗客1、314人のうち、乗員14人、乗客1,041人の計、1155人が死亡または行方不明となり、救助された生存者は159人だけとなつてしましました。



◆7千人以上(1480人)の死亡者の中でディーンと一緒にいたあと二人の宣教師の消息が少しずつ分かつてきました。

事故の翌日、

『私はアメリカ人の宣教師に助けられた』

と名乗り出た人が二組いたのです。しかしこの人がどういう人なのか、全く分かりません。二組の母子が、別々に新聞社を訪ねて来て、『私は、アメリカ人の宣教師に命を助けられました。彼は、わたしに救命具を譲ってくれました』

と、それぞれ証言したのです。

◇洞爺丸に乗っていた宣教師は、カナダ人ストーン、アメリカ人オースとディーンの三人であることが分かりました。3人とも予定の船に乗れずたまたま洞爺丸に乗り合わせる結果となつたのです。彼らは私服を着ていたと言われています。ほかに乗っていた外国人は、みんな軍人で、軍服を着ていました。

◆3人のうちでひとり生き残ったのはオースというアメリカ人で、彼は『私は、救命具をだれにも譲つていらない』と、証言しています。そうだとすると残るの

は、ディーンとストーンの二人に絞られます。

◆(アルフレッド・ラッセル・ストーンについてWE blio 辞書から引用します。)

アルフレッド・ラッセル・ストーンは1902年4月29日カナダ オンタリオ州ケント県ハイゲート村出身、

1926年、カナダ合同教会の宣教師として東京に

赴任。

1928年 日本メソヂスト長野教会に赴任、さらに富山に赴任。

1931年 カナダに帰国、婦人宣教師ジーンギレス

ビーと結婚、1932年双子の娘が生まれたが死亡、9月浜松市、高町教会に宣

教

教師として赴任。

1933年6月、児童養護施設静岡ホームの理事長として拘留された日系カナダ人のために尽力する。

1934年 日本メソヂスト長野教会に赴任
1941年 カナダに帰国、太平洋戦争で敵性国民

として拘留された日系カナダ人のための主事兼財務担当、

1947年 東京赴任、日本のカナダ合同教会のための主事兼財務担当、

町田市に農業伝道のための神学校、農村伝道神学校(鶴川学園)初代校長

1948年 児童養護施設静岡ホームの理事長、

1950年 東京多摩で日本基督教団日野台教会を設立

1951年 東洋英和女学院理事

1952年 児童養護施設静岡ホームの理事長

1954年 札幌に赴任

9月26日 軽井沢へ行く途中、函館に向かう青函連絡船の洞爺丸に乗船し、たまたま同乗したYM



ストーン宣教師



リーパー宣教師

CAの宣教師デイーン・リー・パーと共に
洞爺丸事故で遭難死する(52歳)。

◇ストーン、リー・パーの二人によつて救われた人については記録の中に、わずかな異動はあるが、恐らくもっと多くの人が3人に接触していくに違いない。手が触れただけで救われなかつた人もいたろう、二人に向かつて差し伸ばされた二本の手の一方にしか手を取つてあげられなかつたこともあつたかもしれない。

◆わたしはこれまで、リー・パーを中心になつか本を読んで、なかつたような気がする。何回か読んでいるうちに「言葉少なにいた」ストーンの存在が急に大きくなつてきただことに気が付いて驚き経験を見て納得した。そして溺れる人を救援するに際しても、お互いがお互いを意識しながら自己の力以上の働きができていたにちがいないと思いました。3人の出会いがあまりにも偶然の重なりの上に構成されていたので、そこに神意を感じないではいられなかつたのです。



石蕗(ツワブキ)